

14. 医療の改善活動（TQM）

医療の改善活動（TQM）

（平成26年4月～平成27年3月）

平成 26 年度 TQM 発表会報告書

TQM推進部会

日時:平成27年3月25日(水)17:00～18:55

場所:健診センター2階大講堂

参加者:86名(診療部3名 看護部61名 診療技術部16名 事務部6名)

発表:8チーム 発表時間10分

◎=発表者

テーマ	チーム名	メンバー	発表内容
お待たせしねえぜー すぐ撮るぜえー	おもてなし戦隊待 たせない-Z (放射線科)	◎赤木 幹夫 宮野音 努 谷川 淳 平田 彰 原田 典明	一般撮影の待ち時間短縮にむけ,入院患者搬送スケジュールの作成,第1撮影室に患者を集中させないよう第3撮影室のレイアウト変更等に取り組んだ結果,待ち時間短縮できた。
進め安心の輪和!!!! Part V	外来・検査科・医事 課・くらしサポー トチーム	◎熊澤 鈴子 福原 真理 片岡 光子 瀧口	中央注射室の混雑を軽減するため,採血管の前日準備,採尿のみ患者の誘導,注射室支援調整等の取り組みを行った。結果,受付業務の軽減,注射室内の混雑の軽減に繋がった。
5分であったかい んだからあ〜♪	5分でぼかぼか (手術室)	◎篠原 理恵 中井 晋平	手術環境,今回は手術台の加温機による快適性と効率性に焦点を当て,加温手順の作成し手順に沿って実施した結果,手順統一が図られ,電力削減にもつながった。
耳鼻科クリニカル パスの退院指導を 充実させたい! ~患者指導方法を見直 して~	耳鼻科クリニカル パスの退院指導を 楽にし隊 (3階西病棟)	◎加藤 悦子 山崎 利香 米谷 雅子 山中 智恵子	耳鼻科クリニカルパス疾患で60%を占めるESS,頸部腫瘍,扁桃(小児)の退院指導を充実させるため,疾患,クリパスの電カル操作の知識,日常生活指導に必要な知識とツールの作成等の取り組みを行い,理解度の向上につながった。
入院時手術に必要 物品を持参しよう	不安軽減隊 (4階東病棟・外来)	◎熊野 大地 井上 慶子 三浦 真寿美 吉村 加奈恵 出雲 由美	安心して手術が受けられるよう必要物品を持参し入院できることを目的に,外科外来と病棟で説明用紙の作製,必要物品説明から入院時の確認までの運用方法の手順作成,必要物品の知識の共有等の取り組みを行い,入院時持参率は上昇した。
いつ減らすの,今で しょ! ~配薬時の確認不足に よるインシデント減少 を目指して~	おヒヤリ減らそう 隊 (2階病棟)	◎宮田 智都美 黒瀬 裕美 福島 紀子 大久保 建祐 (現3W)	2年前から内服インシデントの増加がみられ,その要因は確認不足大半を占めていた。配薬手順をより具体的に作成し,自己評価,薬剤知識の勉強会等に取り組んだ。特に「指差し呼称」を何時もしているを90%以上と目標を設定したが,79%と達成には至らなかった。
喉頭全摘術を受け る患者様への説明 と指導は3西スタ ッフにお任せ!	3階西病棟 Bチーム	◎富士原 則子 近森 晃・新田 浩子・ 森井 葉子・永岡 菜 穂子・米谷 雅子・吉 川 修平・中場 恵梨 華・佐々木 利勝・岡 本 千秋・原山 美香・ 滑 佳代子・大西 由 華	喉頭全摘術を受ける患者に必要な説明と指導ができる為に,オーバービューの作成,パンフレットの作成,喉頭がん,喉頭全摘の勉強会を実施し,スタッフの理解度が30%から99%にあがった。
あ~誰か片付けて!	キ レ イ キ レ イ Sister's (4階西病棟)	◎長迫 智子 川本 秀子 坪内 裕美子 立川 友貴	2年前から5S活動を導入した。5S活動を定着させるため,収納棚の一覧表・写真の作成,ラベリング,頻度の高い順に配置,片付け頑張った大賞の表彰など活動に取り組んだ。結果,棚の整理が継続でき,5S意識が高まった。

以上の発表を最初から聞いた方に上位2チームを選んでもらい投票,上位3チームが決定した。

- 1位 3階西病棟 Bチーム
- 2位 キレイキレイSister's (4階西病棟)
- 3位 おもてなし戦隊待たせない-Z (放射線科)